



私のヒコキ博物館

元・航空宇宙技術研究所計測部長／元・東海大学工学部教授 幸尾治朗・著

A5判 232ページ 定価 1,680円（本体 1,600円＋税）

航空研究機関で長く技術開発や航空事故調査に携わってきた著者が、60年以上の飛行機人生のなかで出会った、忘れ得ぬ人々と思い出多き機体を振り返る。

これまで搭乗した航空機は70数機種、そのうち30数機種の操縦桿を握ることができた。また、各種飛行実験に用いた機体も10機種以上に及んでいる。我が生涯最初の搭乗機となった「零式水上偵察機」、初めて飛行試験をした機体でもあった「LM-1」、念願のパイロットライセンス取得で世話になった「MS-880B ラリー」、国外最初のフライト経験をした「ラスクーム 8-A」、VSA 評価でニアガラ滝上空を飛んだ「ダグラス A-26 インベーター」、思い出のラスト・フライト機「FA-200 改」、皮製飛行帽の匂いが懐かしいカリフォルニアでの「カーチス JN-4 ジェニー」.... STOL 機の研究開発で貴重な成果を得た「FA-200XS」、そして、NAL 後半の8年間をその開発とともに過ごした STOL 実験機「飛鳥」.... 数々の機体が万感の思いと重なって、走馬燈のように浮かび上がってくる（本文より）。

著者略歴：九州帝国大学工学部工業力学（航空工学）科卒。航空宇宙技術研究所 STOL 実験機「飛鳥」プロジェクト推進本部長、東海大学大学院工学研究科教授、運輸省航空事故調査会委員などを歴任。現在は「羽田航空宇宙科学館」実現をめざす同推進会議会長として精力的な活動を続けている。工学博士，技術士。

●内容

“乗り初め”は零式三座水上偵察機

ファースト・フライトとラスト・フライト

ベル 47G ヘリコプターとパイロット・コメント

ベンセン B-8 ジャイロ・グライダーのフライト

“空の女王様”クイーンエアは動き者

富士 FA-200XS の生い立ち

ヒューズ H-200 で行く甲州街道

昔の STOL（短距離離着陸）機は……

ドルニエ Do28A-1 と Do31

MS-880B ラリークラブとライセンス

ラスクーム 8-A と FFA

ダグラス A-26 インベーターと VSA

AG-14 と RFRL

飛行船レインボー号のポジション・エラー

川崎 P2V と三宅島

PS-1 の夜間着水と HUD

タイフーンと“ツルの頭叩き”

カーチス JN-4 ジェニーと NFAC

幻の複座グライダー九帝 12 型

震電と私と仲間たち

橘花とネ・20 と銀色の印鑑

シコルスキー S-55 との付き合い

リフティング・ボディと NASA 飛行実験センタ

ー

ダグラス DC-8 との“いろいろ”

“飛鳥物語”その1「名付け親」

“飛鳥物語”その2「NASA と QSRA」

“飛鳥物語”その3「飛鳥ってどんな飛行機？」

C-1 改 FTB と“オイル・マイグレーション”

10 年目の J5Y5 型グライダー

国産旅客機 YS-11 よもやま話

ヒコキと失速

ボーイング 747 ジャンボと後部圧力隔壁

UF-XS は残った……！

九一式戦闘機の保存と活用

“飛鳥物語”その4「夢のまた夢」

内閣中央航空研究所聞き書き

ヒコキマニアの名医・斎藤茂太先生の思い出